

2020年5月15日

第8期活動報告書

(2019年5月1日～2020年4月30日)

1. 日本支部の概要 (2020年4月30日現在)

- 1) 役員数 11名 (資料②役員名簿参照)
- 2) 会員数 1,048名 (前期1,048名)

2. 活動報告

1) 主催

当会が主催するパブリックカンファレンスは開催しなかった。

2) 共催

【第23回 パブリックカンファレンス】

米国ハリケーン・ハービーに関する現地調査報告会

「産業集積・新興住宅地域 ヒューストンを襲ったハリケーン・ハービー」
～テキサス型レジリエンスの正体～

日時：2019年5月8日(水) 13:15-17:00

会場：関西大学東京センター

主催：国土交通省・内閣府・関西大学社会安全学部

参加者数：約220名

【第24回 パブリックカンファレンス】

首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 第1回シンポジウム

「企業も強くなる 首都圏も強くなる～テーマ別分科会の挑戦～」

日時：2019年7月19日(金) 14:00-17:00

会場：都道府県会館

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター

参加者数：約270名

【第25回 パブリックカンファレンス】

首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 第2回シンポジウム

「企業も強くなる 首都圏も強くなる～住民や従業員・職員の安全力を高める～」

日時：2019年9月24日(火) 14:00-17:00

会場：都道府県会館

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター

参加者数：235名

【第26回 パブリックカンファレンス】

首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 第3回シンポジウム

「企業も強くなる 首都圏も強くなる～首都圏を襲う台風災害の怖さを改めて学ぶ～」

日時：2019年12月16日(月) 14:00-17:00

会場：都道府県会館

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター

参加者数：235名

【第27回 パブリックカンファレンス】

首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 令和元年度 成果報告会
「データ利活用力向上のため“励むべきこと”は何か」

日時：2020年2月28日（金）13:30-17:00

会場：伊藤謝恩ホールよりオンライン配信

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター

参加者数：不明

3) イベント及び研究会等への参加状況

【第26回 ICS推進研究会】

「防災・危機管理に係るISOの現状と課題」

日時：2019年5月24日（金）09:00-11:00

場所：衆議院第1議員会館

参加人数：約25名

【『気象と防災』に関するシンポジウム】

日時：2019年9月4日（水）13:30-17:00

場所：政策研究大学院大学

【第1回 国難災害対応マネジメント研究会】

注) ICS推進研究会が発展的解消し、新たに立ち上がった研究会。

「“国難災害対応研究会”設立にあたって」

「米国National Incident Management System」

日時：2019年10月2日（水）15:00-17:00

会場：政策研究大学院大学

参加者数：約60名

【第2回 国難災害対応マネジメント研究会】

「“国難災害対応研究会”について」

「National Incident Management System構築の重要性」

日時：2019年11月27日（水）15:00-17:00

会場：政策研究大学院大学

参加者数：約55名

【第3回 国難災害対応マネジメント研究会】

「米国の災害対応行政から何を学ぶか」

「新潟県における災害対応業務標準化の試み」

日時：2020年1月29日（水）15:00-17:00

会場：政策研究大学院大学

参加者数：約60名

4) 情報発信活動

6月に「HPと名簿整備WG」（担当：井ノ口理事・中澤理事）を立ち上げ、活動についての調整を行った。

・メーリングリスト管理

メーリングリストを整理し、TIEMS日本支部とデータ利活用協議会、それぞれの会員の突き合わせを行った。→あまり重複していない結果となった。

会員へのイベント等のメール配信については、システム構築には至っておらず、引き続き、新建新聞社からエクセルデータをもとに必要に応じて一斉メールを送れるようにしている。

また、井ノ口理事より「イベントへの出欠管理システム」の紹介があったが、運用までの結論

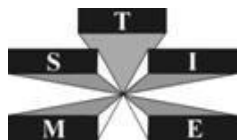
は出ていない。

- 新建新聞社発行のウェブサイトを活用して、会員向けの“お知らせ”等、情報発信の場とした。<https://www.risktaisaku.com/articles/-/1123>
- HPについては、facebook上にTIEMS日本支部のページをつくり、会員間の情報交流の場とした。<https://www.facebook.com/TiemsJapanChapter>
新たなHP構築としては、井ノ口理事より提案が出されている段階。（来年度以降の協議事項）

5) その他

- 理事会の定期開催
今期は、2019年5月8日（第16回）の1回のみ開催。重要事項については、理事間でメールにて審議した。
- TIEMS本部への2019年度chapter会費（EUR310）は、11/21に納付済み。

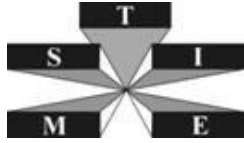
以上



国際危機管理学会(TIEMS)日本支部役員名簿

2020年5月15日現在

	氏名	所属	役職名
代表理事	林 春男	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	理事長
理事 (事務局長)	牧 紀男	国立大学法人 京都大学防災研究所	教授
監事	藤縄 幸雄	株式会社ミエルカ防災	技術顧問
理事	武田 文男	国立大学法人政策研究大学院大学	客員教授
理事	渡辺 研司	国立大学法人 名古屋工業大学大学院	教授
理事	田村 圭子	国立大学法人 新潟大学 危機管理本部 危機管理室	教授
理事 (HP・名簿整備WG担当)	井ノ口宗成	国立大学法人 富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	准教授
理事	田代 邦幸	合同会社 Office SRC	代表社員
理事 (会計担当)	田中 秀宜	日本ミクニヤ株式会社	代表取締役
理事 (HP・名簿整備WG担当)	中澤 幸介	株式会社新建新聞社	常務取締役 リスク対策.com編集長



国際危機管理学会 (TIEMS) 日本支部
第8期 収支報告書

自 2019年5月1日 至 2020年4月30日

2020/5/15 (単位:円)

1.収入の部

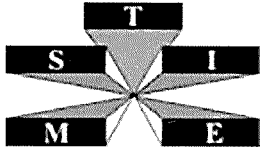
項目	予算額①	決算額②	予算差異(②-①)	備考
事業収入	90,000	0	▲ 90,000	
資料代	90,000	0	▲ 90,000	
			0	
			0	
その他収入	100	4	▲ 96	普通預金利息他
前期繰越金	547,367	547,367	0	
収入合計 (A)	637,467	547,371	▲ 90,096	

2.支出の部

項目	予算額①	決算額②	予算差異(②-①)	備考
事業支出	720,000	54,123	▲ 665,877	
パブリックソファリス開催費用	650,000	0	▲ 650,000	
事務通信費	20,000	0	▲ 20,000	
諸雑費	50,000	54,123	4,123	2019年度本部会費他
その他支出	10,000	6,500	▲ 3,500	海外送金手数料・振込手数料
支出合計 (B)	730,000	60,623	▲ 669,377	

3.当期収支差額 (次期繰越金)

(A) - (B)	▲ 92,533	486,748	579,281	
-----------	----------	---------	---------	--



監査報告書

TIEMS 日本支部

代表理事 林春男 殿

私は、2019年5月1日から2020年4月30日までの活動及び収支の監査を行い、次の通り報告します。

1 監査の方法の概要

- (1) 活動監査について、理事会に出席し、理事から活動の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて活動執行の妥当性を検討しました。
- (2) 収支監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。

2 監査結果

- (1) 活動報告書は、法令及び規約に従い、会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 収支報告書は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは規約に違反する重大な事実は認められません。

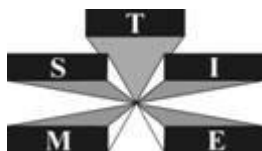
以上

2020年5月15日

TIEMS 日本支部

監事 藤縄幸雄

藤縄幸雄



第9期活動計画書

(2020年5月1日～2021年4月30日)

1. 活動計画

1) パブリックカンファレンスの開催

- ・ 当会主催のパブリックカンファレンスの開催については、民間・企業の参加を中心としたオープンな場として行っていくこととなる。今後、具体的な企画を検討していく。
- ・ 前期に引き続き、共催として、「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト (forR)」のイベントに、事務局サポートとして参加を継続していく。

2) 外部プロジェクト・学会・シンポジウム等への参加

- ・ 前期に引き続き、“国難災害対応マネジメント研究会 (NIMS)”の事務局をサポートする。
- ・ 当会の理事が関与する外部プロジェクト・学会・シンポジウム等より、当会への要請があった場合は、理事会で確認の上、積極的に参加していく。

3) 情報発信活動

- ・ 「HPと名簿整備WG」(担当：井ノ口理事・中澤理事)にて、情報発信に対しての状況把握やカイゼン等を行っていく。
- ・ メーリングリスト管理
今後のイベント情報に対して、“メール配信システム”の検討、及び、井ノ口理事提案済みの“出欠管理システム”の構築を行っていく。当面は、引き続き、新建新聞社よりエクセルデータをもとに、必要に応じて一斉メールを配信できる準備を継続する。
- ・ 新建新聞社発行のウェブサイトを活用して、会員向けの“お知らせ”等、情報発信の場とする。(https://www.risktaisaku.com/articles/-/1123)
- ・ facebook上のTIEMS日本支部のページにて、会員間の情報交流の場とする。(https://www.facebook.com/TiemsJapanChapter)
期中に、新たなHPの構築を行う。(井ノ口理事提案済みの検討)

4) その他

- ・ 理事会の定期開催(開催日未定)
- ・ TIEMS本部への2020年度chapter会費(EUR310)支払いを継続する予定。

2. 予算計画

1) 収入		(単位：円)	
項目	予算額(案)	備考	
資料代(パブリックカンファレンス)	0	-	
その他	10	普通預金利息	
前期繰越金	486,748	-	
収入合計(A)	486,758	-	

2) 支出			
項目	予算額(案)	備考	
事業支出	パブリックカンファレンス開催費用	0	会場代、資料作成、講師謝礼他
	交通費	0	-
	事務通信費	20,000	-
	諸雑費	50,000	TIEMS本部会費
その他	支出	10,000	海外送金手数料等
支出合計(B)	80,000		

3) 繰越			
(A) - (B)	406,758	-	